臨時教育會議官制名簿

国立国会図書館　水野直関係文書 73

臨時教育會議官制名簿

事務所　宮城內內閣書記官室　電本局一一〇七、四四五八二、四四〇三五

幹事長事務所　文部省內　電本局四一一、四一二一、一五一五

內閣總理大臣官邸　電新橋五五三、五五四

文部大臣官邸　電新橋一八三六

臨時教育會議名簿

總裁

三十六番　法學博士　子爵　平田東助
（神田駿河臺鈴木一一、電本局九一八）

副總裁

二十三番　男爵　久保田讓
（小石川金富、三五、電番町七三）

委員

一番　法學博士　一木喜德郎
（神奈川縣小田原町、小石川林六七七、電小石川七七七）

二番　鎌田榮吉
（荏原、下目黑、五五五、電芝四一八）

三番　工學博士　眞野文二
（福岡市小烏馬場、一六ノ一、麴町上六番、三三、電番町五二五）

四番　理學博士　男爵　山川健次郎
（北豐島、巢鴨池袋、一〇〇、電小石川五六）

五番　文學博士　澤柳政太郎
（北豐島、高田、雜司ヶ谷旭出、四三、電番町二六四甲）

六番　柴田家門
（麴町、中六番、三七、電番町一五一一）

七番　法學博士　木場貞長
（豐多摩、千駄ヶ谷原宿、二〇四、電芝六四〇）

八番　田所美治
（麴町、土手三番、三一、電番町二〇三八）

九番　莊田平五郎
（小石川林、五〇、電小石川四六二）

十番　小松原英太郎
（荏原、大井字元芝、七八六、電芝四三）

十一番　醫學博士　男爵　高木兼寬
（麻布、東鳥居坂、一三、電芝三五三五）

十二番　法學博士　男爵　阪谷芳郎
（小石川原、一二六、電小石川一二〇）

十三番　大津淳一郎
（豐多摩、千駄ヶ谷、五三八、電芝三九三三）

十四番　市來乙彥
（牛込新小川、三ノ三一、電番町八〇二）

十五番　山梨半造
（四谷、南伊賀、四三、電番町四〇〇八）

十六番　早川千吉郎
（麴町、下二番、七一、電番町二五九五）

十七番　成瀨仁蔵
（小石川、高田豐川、一八、日本女子大學校內、電番町七七〇）

十八番　瀨戸虎記
（牛込、若松、一四、電番町二四六八）

十九番　法學博士　鵜澤總明
（豐多摩、千駄ヶ谷、南前、四五七、電芝四六四〇）

二十番　法學博士　水野錬太郎
（芝、白金猿、六一、電芝一五八〇）

二十一番　有松英義
（麻布、木村、二七、電芝四三〇〇）

二十二番　嘉納治五郎
（小石川、大塚坂下、一一四、電小石川六一一）

二十四番　北條時敬
（北豐島、高田、學習院官舍、電番町四〇四三）

二十五番　村上格一
（神奈川縣三浦郡田越村大字逗子七四六）

二十六番　江木千之
（牛込、余丁、三五、電番町二五二五）

二十七番　關直彥
（京橋、木挽、一ノ一五、電京橋三五七）

二十八番　伯爵　兒玉秀雄
（麴町、永田、二ノ一四、官舍、電新橋七一〇、七一一）

二十九番　山根正次
（豐多摩、落合、字下落合、三五五、電番町四〇五）

三十番　三土忠造
（豐多摩、澁谷、青山北、七ノ二、電芝二七三五）

三十一番　子爵　水野直
（小石川、大塚窪、七、電小石川一一五二）

三十二番　小山健三
（大阪市東區大手通二丁目）

三十三番　法學博士　桑田熊藏
（本郷、駒込林、一九、電小石川九四八）

三十四番　手島精一
（本郷、駒込西片、一六、電小石川九〇）

三十五番　湯原元一
（牛込、市谷柳、二五、電番町三八九一）

三十七番　醫學博士　荒木寅三郎
（京都市上京區萬里小路近衛上ル）

三十八番　法學博士　井上友一
（豐多摩、內藤新宿北裏、一二八、電番町九二二）（芝、芝公園、官舍、電芝二五一七、二五一八）

田所美治
（麴町、土手三番、三一、電番町二〇三八）

幹事長

牧瀨五一郎

幹事

小石川、高田豐川、三七　田熊次

文學博士　吉

小石川、白山御殿、一一〇、電小石川六六〇　條康麿

麴町、永田、二ノ一四、官舍、電新橋二八九　下

牛込、矢來、三、舊殿、一八、電番町六八二　武部欽一

書記

稲垣茂一
西內又十郎
村田太郎
石黑覺太郎
菊澤季麿
小畑善吉

国立国会図書館　水野直関係文書 73

臨時教育會議官制（大正六年九月二十日 勅令第百五十二號）

第一條　臨時教育會議ハ內閣總理大臣ノ監督ニ屬シ教育ニ關スル重要ノ事項ヲ調査審議ス

第二條　臨時教育會議ハ內閣總理大臣ノ諮詢ニ應シテ意見ヲ開申ス

第三條　臨時教育會議ハ內閣總理大臣ニ建議スルコトヲ得

第四條　臨時教育會議ハ總裁一人、副總裁一人及委員四十人以內ヲ以テ之ヲ組織ス

特別ノ事項ヲ調査審議スル爲必要アルトキハ臨時委員ヲ置クコトヲ得

第五條　總裁及副總裁ハ內閣總理大臣ノ奏請ニ依リ之ヲ勅命ス

委員及臨時委員ハ內閣總理大臣ノ奏請ニ依リ內閣ニ於テ之ヲ命ス

第六條　總裁ハ會務ヲ統理シ會議ノ議決ヲ內閣總理大臣ニ具申ス

總裁事故アルトキハ副總裁其ノ職務ヲ代理ス

第七條　總裁及副總裁ハ會議ニ於テ意見ヲ陳述シ可否ノ數ニ加ハルコトヲ得

第八條　總裁必要ト認ムルトキハ委員ノ中ヨリ主査委員ヲ選定シ審査ヲ命スルコトヲ得

第九條　文部大臣ハ會議ニ出席シテ意見ヲ陳述スルコトヲ得

內閣總理大臣ハ必要ニ依リ又ハ總裁ノ要求アルトキハ各省大臣其ノ他適當ト認ムル者ヲシテ會議ニ出席シ意見ヲ陳述セシムルコトヲ得

第十條　臨時教育會議ノ議事ニ關スル規則ハ內閣總理大臣之ヲ定ム

第十一條　臨時教育會議ニ幹事長及幹事ヲ置ク

幹事長ハ文部次官ヲ以テ之ニ充ツ總裁及副總裁ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

幹事ハ內閣總理大臣ノ奏請ニ依リ內閣ニ於テ之ヲ命ス上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第十二條　臨時教育會議ニ書記ヲ置キ內閣ニ於テ之ヲ命ス

書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

教育調査會官制ハ之ヲ廢止ス

臨時教育會議議事規則（大正六年九月二十五日內閣總理大臣決定 同日臨時教育會議總裁宛通牒）

第一條　會議ハ總裁ニ於テ必要ト認メタルトキ又ハ委員五名以上ノ請求アリタルトキ總裁之ヲ召集ス

第二條　總裁ハ會議ノ議長ト爲リ議事ヲ整理ス

第三條　總裁、副總裁共ニ事故アルトキハ總裁ニ於テ委員ヲ指名シ臨時議長ヲ代理セシム

第四條　會議ハ總裁、副總裁、委員及臨時委員ヲ合セ其ノ半數以上出席スルニアラサレハ之ヲ開クコトヲ得ス但シ豫メ特ニ議決ヲ經タル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五條　議席ハ豫メ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第六條　會議ハ之ヲ祕密トス

第七條　發言セムトスル者ハ議長ノ許可ヲ受クヘシ

發言ハ議席ニ於テ起立シテ之ヲ爲スヘシ

第八條　議事ノ整理上必要アルトキハ議長ハ發言ヲ止メ又ハ議事ヲ中止スルコトヲ得

第九條　議長意見ヲ陳述セムトスルトキハ議席ニ著クヘシ

第十條　建議案ヲ提出セムトスル者ハ案ヲ具シ五名以上ノ贊成者ト連署シテ之ヲ總裁ニ差出スヘシ

第十一條　修正ノ動議ヲ提出セムトスル者ハ案ヲ具シ之ヲ議長ニ差出スヘシ但シ簡單ナルモノハ口頭ヲ以テ陳述スルコトヲ得

第十二條　動議ハ贊成者アルニアラサレハ議題ト爲スコトヲ得ス

第十三條　議事ハ出席ノ委員及臨時委員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

總裁又ハ副總裁可否ノ數ニ加ハリタルトキハ之ヲ出席委員ト看做ス

第十四條　採決ハ起立ニ依ル但シ議決ニ依リ記名投票又ハ無記名投票ヲ用フルコトヲ得

第十五條　主査委員ハ其ノ互選ヲ以テ委員長ヲ置ク

主査委員長ハ審査ノ經過及結果ヲ會議ニ報告スヘシ

主査委員會ニハ本則ノ規定ヲ準用ス

第十六條　臨時教育會議官制第九條ノ規定ニ依リ會議ニ出席シテ意見ヲ陳述スルコトヲ得ル者又ハ建議案若ハ修正案ノ提出者ハ主査委員會ニ出席シテ意見ヲ述ヘ又ハ說明ヲ爲スコトヲ得

国立国会図書館　水野直関係文書 73